



装置稼働する町長ら

## 「森の金太郎発電所」開所

### 森林活用で循環型社会

小山町は2日、上野、  
「森の金太郎発電所」の  
開所式を行い、込山正秀  
町長など関係者約50人が  
参加した。

聞きながら施設を見学し  
た。

森の金太郎発電所は、  
地域の材を活用すること  
で地域資源循環型社会の  
形成や温室効果ガス排出  
量の削減などを図ってい  
く施設。町が県の内陸フ  
ロンティア推進区域指定  
の湯船原地区約995平  
方㍍に設置した。ふじお  
やまパワー・エナジー社が  
管理運営する。町内の間  
伐材などで生産した木質  
ペレットを燃料に発電  
し、売電する。施設は  
木造2階建て、屋根には  
太陽光発電も完備し、生  
産した電気を蓄電池にた  
まは、担当者の説明を

める。発電は1時間で最  
大180㎾、熱供給は2  
70㎾。使用する木質ペ  
レットは年間約825  
㌧。発電時に発生する熱  
も売熱し、隣接する大規  
模施設園芸集積地にも供  
給する。

名称は、神奈川県川崎  
市、赤羽和親さんが「金  
太郎の故郷として知られ  
る小山町に産まれる環境  
に優しい発電所として  
多くの人に親しまれてほ  
しい」と名付けた。